

患者必携とは

がんと診断されて間もない患者さんの思いに寄り添い、支える事の助けとなることを目指して、「信頼できる情報で、わかりやすく、役にたつもの」をまとめたものです。

- ①自分らしい病気との向き合い方を教えていくために読む「がんになったら手にとるガイド」
- ②治療や療養生活について、聞いたり調べたりして理解したことを書き留めて整理する「わたしの療養手帳」
- ③お住まいの地域の相談窓口などの情報をまとめた「地域の療養情報」

患者必携の主な対象は、がんと診断が伝えられた直後（比較的最近）の患者さんです。

患者必携3点セット



①がんになったら手にとるガイド



②わたしの療養手帳



③地域の療養情報

患者必携の役割

1. がんの治療経過がわかる
2. 大まかに自分のがんの状況と今後の見通しの参考になる
3. 医療者、介護や支援などの初期の理解の手助けになる
4. 療養や今後の生活に関して調べること、知るべきことを認識する助けになる
5. 患者・家族と医療者、支援者が共に同じ冊子体を使って情報共有、情報交換することによって、患者さんにとって役立つ情報が蓄積され、行動に結びつけられる。

①「がんになったら手にとるガイド」(A5判サイズ) + ②私の療養手帳

1. がんの療養情報(全16冊分)を合体(約464ページ)
2. 見本版を全体で8万部印刷し、医療機関、行政窓口配布
3. 書店より販売(平成23年3月書店にて販売開始予定)
4. 書店での販売価格は1260円(消費税込み)
5. がん情報サービスからPDF公開
6. がん情報サービス携帯版からの公開

付録として
ついてくる



①

+



②



③ 地域の療養情報について

1. 作成は各都道府県事業として作成する
2. 沖縄県においては、沖縄県、沖縄県がん診療連携協議会、琉大病院がんセンターにて共同作成され、3月末までに2万部完成予定（4月より配布可能）



③地域の療養情報

④ 患者必携 がん患者さんのしおり（無償ダイジェスト版）

1. 国立がんセンターより80万部を印刷し、3月上旬に医療機関（拠点病院以外を含む）、行政窓口配布（1拠点病院約2000部ずつ）
2. 相談支援センターの活用、必携情報の入手方法についての紹介
3. 患者必携サポートセンター（電話相談窓口）を9月に開設
4. 活用方法については、各医療機関に委ねる



④患者さんのしおり

⑤ 「がんになったら手にとるガイド」案内用3つ折りリーフレット

1. 患者必携「がんになったら手にとるガイド」案内用
2. 各拠点病院へ2000部ずつ配布
3. 活用方法については、各医療機関に委ねる



⑤3つ折りリーフレット

⑥ 「地域の療養情報」案内用のチラシ

1. 患者必携「おきなわがんサポートハンドブック」案内用のチラシ
2. 琉大病院がんセンターにて作成
3. 院内患者さん（外来、入院）へ配布予定



⑥「地域の療養情報」案内用のチラシ